

あさやけ



ひな祭り

今年もひな壇を設置しご入居者にひな祭りを楽しんでいただきました。ひな祭りは、子供の無病息災を願う習わしです。きれいに飾られたひな壇をみるとみなさん心が躍るようで嬉しそうにみておられ、「きれいなね」「いいわね」「立派だわ」などおっしゃって下さいました。写真撮影の際には童心にかえったように満面の笑みを見せてくれました。

関東と関西ではお内裏様の位置が変わるようです。関東雛は向かって左にお殿様を、京雛は向かって右にお殿様を飾るそうです。関東雛のお顔は、はっきりとした目鼻立ちで一般的な雛人形でイメージのお顔。京雛のお顔は、目は切れ長で細く、おっとりとした上品なお顔をしていて「京顔（きょうがん）」と言われているそうです。

桜と橘は植物の一種です。桜は魔よけや邪気払いの効果があると考えられています。橘は冬に花が咲くことから、不老長寿の木としてあがめられていました。この二つの植物も、お嬢さんが健康に育つようにという願いが込められているのです。



関東風ですね。



ところでお内裏様、お雛様はどの人形を指すのかご存知ですか。お内裏様は、上段の男雛、女雛でお雛様は他の雛人形を指すそうです。



風船バレーで 体操！

前は手で直接打って頂きましたが、今回は団扇を使っての風船バレーです。手と比べ団扇を使うことで、いつもより遠くにある風船を捉えることができ、いつも以上に躍動するような動きを見せてくださいました。

手でのバレーも皆さん上手でしたが、団扇を使ってのバレーも上手く、風船をさばき相手のほうへと打ち返されていました。

職員も一緒に行いましたが思った以上に白熱した試合を行うことができました。



研 修 報 告

3月に食事介助の研修を行いました。食べてから胃に入るまで先行期、準備期、口腔期、咽頭期、食道期の5期に分けて行われています。

喉頭蓋というものが機能して食物が胃へと運ばれていきます。

食べる際、姿勢もですが、足底をしっかりつけることも必要となります。しっかりと足をつけないと呑み込みが難しくなります。

食事の介助の際声掛けをしながら、座って目線を合わせ介助を行います。職員同士で無言や立った状態での介助、目を閉じられているご入居者の想定をして、演習を行いました。

実際に体験してみて、目を閉じた状態で無言での介助となると、何を食べているのかわからず呑み込むのも怖く感じました。声掛けの大切さを改めて感じました。

梅 の つ る し か ざ り

梅の花のつるしかざりを作り飾ってみました。伊豆の稲取地区では、江戸時代後期頃より雛祭りの際に娘の成長を願う母や祖母が、小さな人形などを手作りし、それを飾って吊るす「つるし飾り（つるし雛）」が行われていました。

当時、女の子が生まれると、その子の厄を身代わりに引き受けてもらうものとして、雛人形を飾る風習はすでにあつたのですが、実際に高価な雛人形を買って、飾ることができたのは上流家庭のみで、一般の庶民にはなかなか手の届かないものでした。しかしながら、子が生まれればその子の幸せを願うのは、どのような親でも一緒です。そこで、雛人形の代わりに、はぎれなどで小さな人形を作り、それを吊るしたのが「つるし飾り（つるし雛）」の始まりとされています。



寺山栄養士の話によるとおしゃべりをたくさんされる方は長生きするそうです。みなさんたくさんお話ししましょう!!



4月の予定
誕生会
7日

理容
15日
16日

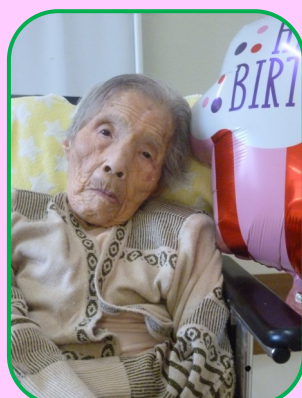
あとがき
4月になると入学式やお花見のシーズンですね。3月の初めには河津桜などが咲いていました。以前は桜の下でお花見を楽しむことができましたが、最近はシートを敷いてのお花見は難しいようです。代わりにですが、桜の下を歩いてみたり、立ち止まって観てしまいますね。4月に入るとアコモードのベランダからも桜をみることができます。是非ご覧下さい。

広報委員

3月誕生日のご入居者



森 勝美様 80歳



鹿沼 ヨシ様 102歳



持田 とみ様 98歳



高橋 淑子様 93歳



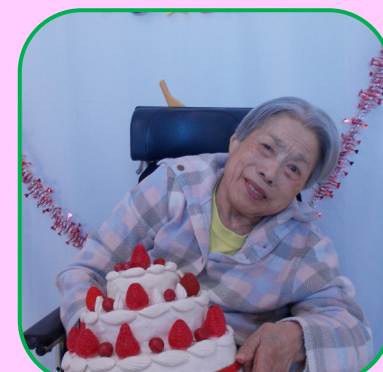
石河 和子様 86歳



島津 隆様 79歳



家田 淳子様 62歳



田島 園子様 94歳